

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第15号 (令和5年6月27日)

目標 きまを守り、友だちと協力して行動しよう ～5年生海事研修～

6月19日(月)、20日(火)に5年生が渋川青年の家で海事研修を行いました。生活がだんだんとコロナ前の状態に戻る中、今回の海事研修も久しぶりに“泊あり”の研修となり、日帰りの時にはできなかった多くのプログラムを体験することができました。

当日は2日とも快晴で、暑くなりましたが、全員元気に全ての研修をがんばりました。



いかだ遊び



不安定ないかだに乗って、息を合わせ、バランスをとりながら前に進みました。しっかり前に進んでいる時の楽しそうな歓声、バランスが崩れた時の悲鳴にも似た声など様々な声がありました。

カッター実習



くろしお号に乗り込み
さあ沖へ出よう！

船上ではセンターの先生の言われることをしっかりと聴いています。5年生のみなさんは、船での自分の役割や位置(リーダー・真ん中・船べり)を事前にしっかりと覚えていたことに感心しました。

また、あの大きくて重いカッター(約1.5トンあるそうです)。研修所の先生の「よーいしょ」のかけ声に最初は合わせることが難しく、オールもバラバラだったと思いますが、「自分の一所懸命を出すこと」「周りとは協力すること」をがんばった結果、カッターがぐんぐんと沖に進んでいく姿はすごかったです。それも少ない人数(14名)で。圧巻でした。

貝がらフォトフレームづくり



使った貝がらは、午前中に一人一人、浜辺で見つけて拾ったものです。



夕食・入浴後に貝殻のフォトフレームづくりをしました。

日中、体力を使い、疲れもピークに達していたと思いますが、眠さを吹き飛ばしもうひと踏ん張りしました。

地引き網



同じ日に泊まった他の学校の人たちと一緒に行いました。

大きな魚もとれましたね。



振り返り（海事研修を終えて） 一部抜粋

目標に対して、がんばったことや達成できたこと

- カッターでみんなと息を合わせて協力できた。
- 14人で他の学校より少ないけれど、ちゃんと進んだこと、陸にもどって来られたこと。
- 団体行動を意識して、みんなと力を合わせたこと。 ○時間を見て行動できた。
- しっかりと友だちと協力できたこと。 ○5分前行動ができたこと。
- きまりを守れたこと。 ○友だちが困っているのを見て、協力することができた。
- 先生の話聞き、行動することができた。 ○カッターこぎで先生に褒められたこと。
- 地引き網で他の学校の人たちとも協力できたこと。
- 目標を意識していろいろなことに取り組めたこと。

これからの生活に生かしたいこと

- 他の行事でも5年生すごいなと思ってもらえるようにする。 ○きまりを守る。
- 目と心と耳でしっかり人の話をきく。 みんなで協力して過ごす。
- 「遊ぶときには遊ぶ、やるときにはやる」というメリハリのある行動をとる。
- 時間をみて行動する。 ○5分前行動をする。 ○“協力”ということを活かしていく。
- みんなでいろいろなことをがんばる。 ○何事にも挑戦する心をもつ。 ○全力でやり切る。

ポイント

勉強・体験したことを普段の生活に活かす

海事研修の振り返りを読むと、一人一人の心の中に、いっぱい思い出ができたと感じました。「楽しかった〜！」は当然、大切ですが、一番大切なのは、この2日間の特別な生活<非日常の生活>を普段の生活<日常の生活>に活かしていくことです。これは海事研修だけではなく今後の行事でも一緒です。

何を感じ、何を学び、それを今後の自分の生活にどう活かしていくのか。例えば、【社会・集団生活のきまりやマナーを守る】【みんなと協力する】【認め・認められる関係づくりをする】などです。



一人一人、特別だった生活を振り返り、学んだことを整理し、生活の中に活かしていくことを考え、おこないましょう。それが学校行事の目的（何のためにするのか）だと思います。

6年生 ナイス！

海事研修が終わった翌日(6/21)、5年生の教室に行くと、黒板に6年生からのメッセージがびっしりと書かれていました。メッセージの内容はねぎらう言葉ばかりで5年生も嬉しかったです。高学年の絆を感じ、私も嬉しかったです。

